

卒業研究		演習	講師 菅谷 美沙都	
科目カテゴリー	スポーツマネジメントコースの必修科目、スポーツトレーナーコースの必修科目	科目ナンバリング	11130401	

1. テーマ

現代社会におけるスポーツの文化的な価値を考える：スポーツマネジメント・スポーツ社会学的アプローチ
 キーワード：学校運動部活動，地域スポーツ，プロスポーツ，スポーツ施設，スポーツ政策

2. ゼミのねらい・概要

スポーツは現代社会において極めて重要な社会現象です。オリンピック，サッカーワールドカップ等から学校運動部活動まで，多くの人々がスポーツとの関わり（する・見る・支える）を持つようになりました。その関わりは，果たして人々の生活を豊かにするものなのでしょうか。多くの学生の皆さんは部活動に取り組んでいる（きた）と思いますが，部活動は誰のため，何のために実践しているのでしょうか。本ゼミでは，皆さんに身近な問題を取り上げ，現代社会におけるスポーツの社会文化的な価値についてスポーツ経営学・社会学的視点で分析・考察できるようになることを目指します。

4年次では，3年後期で学んだ調査手法を活かし，調査内容及び手順を再検討した上で調査を実施し，データを分析・考察していきます。そして，卒業論文としてまとめます。

3. ゼミ計画

<p>〈前期〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 調査手法の振り返り（調査対象，調査項目等の検討） 3. 先行研究の検討①（学術文献の収集） 4. 先行研究の検討②（テーマに関する情報収集） 5. 本調査の企画・設計①（調査目的，対象，調査項目） 6. 本調査の企画・設計②（調査項目，仮説） 7. 本調査の企画・設計③（調査票の作成） 8. 本調査の企画・設計④（調査票の作成と印刷） 9. 本調査の企画・設計⑤（趣旨説明書等の準備） 10. 本調査の実施① 11. 本調査の実施② 12. データ入力①（ナンバリング） 13. データ入力②（クリーニング） 14. 進捗状況の発表，意見交換 15. 前期のまとめ 	<p>〈後期〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション（卒論完成に向けたスケジュール等） 2. データ分析①（データの整理，基礎集計） 3. データ分析②（基礎集計） 4. データ分析③（項目間の比較，クロス集計） 5. データ分析④（考察と仮説検証） 6. 卒業論文の執筆①（研究の背景，目的，方法） 7. 卒業論文の執筆②（データの整理） 8. 卒業論文の執筆③（図表の作成） 9. 卒業論文の執筆④（調査結果，考察） 10. 卒業論文の執筆⑤（考察，結論） 11. 卒業論文の執筆⑥（結論，課題） 12. 卒業論文の執筆⑦（論文の推敲） 13. 卒業論文の執筆⑧（添削後の修正） 14. 卒業論文の仕上げ，製本 15. 後期のまとめ
---	--

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

自分の研究テーマに関する文献収集や先行研究の検討など，ゼミ以外の時間で週3～4時間程度は卒業研究に努めること。調査実施にあたっては，調査受け入れ先に事前にアポイントをとり，調査の趣旨と実施概要の説明を丁寧に行うことが必要です。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

ゼミ時間内に適宜，個別にコメントします。卒業論文については，ゼミ内での研究発表会時に講評を行います。

6. ゼミにおける学修の到達目標

卒業論文の作成を通じて、論理的思考力や考察力、課題解決力を高めていきます。また、データ分析や文章作成のスキルも習得します。

7. 成績評価の方法・基準

ゼミでの積極的な発言（40%）、卒業研究への取り組み方（30%）、成果物（30%）等を総合的に評価します。

8. テキスト・参考文献

テキストは特に指定しません。参考文献は、各自の研究テーマに即して適宜紹介します。

9. 受講上の留意事項

ゼミはゼミ生の皆さんでつくるものです。他者の意見に耳を傾け、皆が気軽に意見を言い合える環境をつくっていきましょう。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当します。本ゼミは、競技スポーツ組織における実務経験を活かして指導します。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。